

Three Nations
Conference
2020

全国コミュニティシネマ会議 2020
『コロナ禍とミニシアター(上映者)』

日程: 2020年12月16日[水] 会場: ユーロライブ(東京・渋谷)

参加費:
会場参加 1000円 ※コミュニティシネマセンター会員は無料(1団体1名)
オンライン参加(ライブ配信) 無料[要申込]

申込方法:
会場・オンラインでの参加 いずれも事前の申込が必要です。
12月1日[火]より受付開始(12月14日まで)

下記項目をご記入のうえ、メールでお申込ください。

申込メールアドレス:cckaigi2020@jc3.jp

[1] 件名「全国コミュニティシネマ会議2020 参加希望」

[2] 所属部署・職名等 [3] 氏名(ふりがな)

[4] 郵便番号・住所 [5] 電話番号

[6] Emailアドレス [7] 参加方法(会場参加・オンライン参加) ※必ずご記入ください。

※定員になり次第締め切らせていただきます。

※会場参加の参加費は、当日受付にて現金にてお支払いいただけます。釣銭のないようご注意ください。

※会場の席数は通常定員よりも制限して販売いたしますが、状況により、販売席数の変更や、
オンライン参加のみとする場合がございます。

本イベントは、新型コロナウイルス感染拡大予防対策を講じた上で実施いたします。

お問い合わせ:コミュニティシネマセンター TEL: 050-3535-1573 Email: film@jc3.jp

<http://jc3.jp/wp/conference/>

2020.12.16 Wed.

The National Conference of Community Cinemas 2020

全国コミュニティシネマ会議2020「コロナ禍とミニシアター(上映者)」

全国コミュニティシネマ会議は、映画上映を行う人たちの情報交換と研究報告、ディスカッション、そして交流の場として、1996年から毎年開催されています。今年の会議は、「コロナ禍とミニシアター(上映者)」というテーマで開催します。

今回の会議では、できるだけ多くのミニシアターをはじめとする上映者に、これまでの経過、現在の状況をご報告いただき、ミニシアターを支援する活動を行ってきた人々を交えて、コロナ後のミニシアターやコミュニティシネマのあり方について話し合います。

PROGRAM 2020年12月16日[水]

13:00 開場

13:30 開会・主催者挨拶

13:30 ~ 17:30 報告 コロナ禍と映画上映 これまで・現在・これから

13:30 ~ 14:45 Part 1 国内の映画館・上映者(1)

北海道から沖縄まで、全国各地の映画館や上映者の報告を聞きます。(各館5分程度)
登壇者は後日、ウェブサイトでお知らせします。

15:00 ~ 16:00 Part 2 海外のアートハウスの状況(アメリカ、フランス、韓国)

アメリカ(ニューヨーク)、フランス、韓国など、海外のミニシアター(アートハウス)はどのような状況なのか。報告を聞きます。

韓国芸術映画館協会(予定/オンライン参加)

増淵愛子(アメリカ/映画プログラマー・ライター・翻訳家)

坂本安美(フランス/アンスティチュ・フランセ日本映画プログラム主任)

16:15 ~ 17:30 Part 3 国内の映画館・上映者(2)

北海道から沖縄まで、全国各地の映画館や上映者の報告を聞きます。(各館5分程度)
登壇者は後日、ウェブサイトでお知らせします。

17:45 ~ 19:15 ディスカッション SAVE the CINEMA !

諏訪敦彦※予定(SAVE the CINEMAプロジェクト/映画監督)

深田晃司(ミニシアター・エイド基金運営事務局/映画監督)

渡辺祐一(仮設の映画館/配給会社「東風」)

村田敦子(Help! the 映画配給会社/配給会社「ミモザフィルムズ」) 他。

司会:佐藤美鈴(朝日新聞記者(映画担当))

コロナ禍における主要なミニシアター支援プロジェクト



SAVE the CINEMAプロジェクト

<https://savethecinema.org/>

新型コロナウイルスの影響が拡大する中、ミニシアターを守りたいという思いから、映画監督、映画館、上映関係者、弁護士等々、有志が集まって始まったプロジェクト。緊急支援を求める要請書を作成、オンラインで署名を呼びかけ、署名91,659筆を政府や関係省庁へ提出。6月に成立した第二次補正予算の文化庁文化芸術活動の継続支援事業ではミニシアターも対象となった。連携団体として、若手映画作家たちによる「SAVE the CINEMA movement」がある。



ミニシアター・エイド基金

<https://motion-gallery.net/projects/minitheateraid>

「ミニシアター・エイド基金」は、新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言が発令され、外出自粛要請が続く中、閉館の危機にあった全国の小規模映画館「ミニシアター」を守るため、映画監督の深田晃司・濱口竜介が発起人となって有志で立ち上げたプロジェクト。クラウドファンディングで支援を募り、約1ヵ月で総額3億3,102万5,487円(コレクター数2万9,926人)を集めた。



仮設の映画館

<https://www.temporary-cinema.jp/>

新型コロナウイルスの影響は、映画にとっても甚大です。劇場が休館を余儀なくされたり、たとえ上映を続けていても観客が安心して鑑賞することができなければ、いずれは劇場だけでなく配給会社も製作者も閉館や廃業ということになりかねません。そこで、インターネット上に「仮設の映画館」をつくってみることにしました。観客は、どの映画館で作品を鑑賞するかを選ぶことができます。そして、その鑑賞料金は「本物の映画館」の興行収入と同じく、それぞれの劇場と配給会社、製作者に分配される仕組みです。(ウェブサイトより)



Help! The 映画配給会社

<https://www.facebook.com/help.the.distributors/>

独立系映画配給会社が、新型コロナウイルス感染拡大の影響による難局を乗り越えるために設立したプロジェクト(14社が加盟)。緊急アクションとして「配給会社別見放題配信パック」を実施。映画館再開後もミニシアターと連携してオンライントークイベント等を開催。将来的には独立系配給会社団体として、諸課題の改善や情報共有に取り組むことも検討している。



ミニシアターパーク

<http://minitheaterpark.net/>

ミニシアター・エイド基金終了後、俳優の井浦新、渡辺真起子、斎藤工が立ち上げたミニシアターを応援するキャンペーン。「みんなで一緒に何かをやるのではなく、俳優一人ひとりの思いを自主的に表現する場にしたい。まずは僕ら3人が前例を作っていこうということになりました」(井浦新さんのインタビュー記事より)オンラインイベントへの参加、動画「SEE YOU AT THE THEATER」の配信、Tシャツの制作販売等々の事業を展開している。



会場:

ユーロライブ

東京都渋谷区円山町1-5 KINOHAUS 2F

渋谷駅下車、Bunkamura前交差点左折

TEL:03-6675-5681

<http://eurolive.jp/>

文化庁委託事業「令和2年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」

主催:文化庁、一般社団法人コミュニティシネマセンター

制作:コミュニティシネマセンター

協力:アテネ・フランセ文化センター、ユーロスペース、映画美学校

JAPAN
COMMUNITY
CINEMA
CENTER

